A 助詞と助動詞の基本

基礎 ｜ 解答・解説

記述は、必要な内容が合っていれば表現が違っても正答です。

問1 答え：助詞

解説 「が」は活用せず、主語を示す。

問2 答え：助動詞

解説 「出かける」を打ち消す。「ない・なく・なけれ」と活用する。

問3 答え：格助詞

解説 「手紙」が読む対象であることを示す。

問4 答え：接続助詞

解説 雨が降ったことを理由として、後ろの事柄につなぐ。

問5 答え：副助詞

解説 「だけ」が飲んだものを水に限る意味を添える。

問6 答え：終助詞

解説 文の終わりで疑問を表す。

問7 答え：希望

解説 話し手の「出たい」という望みを表す。

問8 答え：丁寧

解説 聞き手や読み手に対して丁寧に述べる。

B 前後のつながりから判断する

標準 ｜ 解答・解説

問1 答え：①格助詞／②接続助詞

解説 ①は主語を示す。②は前後の事柄を逆接の関係でつなぐ。

問2 答え：①格助詞／②接続助詞

解説 ①は出発点を示す。②は歩く理由を示して前後をつなぐ。

問3 答え：ウ

解説 長さを測るための道具を示す。

問4 答え：イ

解説 ほかの人に加えて私も手伝うという意味。

問5 答え：過去

解説 「昨日」という時の表現からも、過去の出来事だと分かる。

問6 答え：使役

解説 母が弟に片付ける動作をさせる。

問7 答え：受け身

解説 友人が私の名前を呼び、私はその動作を受ける。「れ」は助動詞「れる」の連用形。

問8 答え：連用形

解説 「ます」に付く「書き」は、動詞「書く」の連用形。

C 付属語の範囲と意味を比べる

発展・応用 ｜ 解答・解説

問1 答え：①格助詞／②形容動詞の活用語尾

解説 ①は場所を示す。②は「親切だ」の連用形「親切で」の一部。

問2 答え：読ま／なかっ／た

解説 「読ま」は動詞、「なかっ」は打ち消しの助動詞「ない」の連用形、「た」は過去の助動詞。

問3 答え：まし：丁寧／た：過去

解説 「知らせ／まし／た」と分ける。「まし」は「ます」の連用形。

問4 〔38字〕 解答例：鉛筆だけに限る意味から、ほかの物に加えて鉛筆も持ってきたという意味に変わる。

解説 副助詞を替えると、ほかの物との関係が変わる。

別解・許容 「鉛筆しか持ってきていない意味から、ほかにも持ち物がある意味になる。」なども可。

採点 「だけ」は鉛筆に限定、「も」はほかの物に添加、の両方が必要。

C 付属語の範囲と意味を比べる

発展・応用 ｜ 解答・解説 ｜ つづき

問5 〔32字〕 解答例：「寒い」と「窓を開ける」という前後の事柄をつなぐ接続助詞だから。

解説 主語を示す「が」と、逆接でつなぐ「が」を区別する。

採点 指定語句を使い、前後の事柄をつなぐ働きを説明できていれば可。「逆接」「接続助詞」という名称の明記は必須ではない。

問6 答え：①使役／②受け身／動作をする人：弟

解説 ①は母が弟に片付ける動作をさせる。②は母が呼び、弟はその動作を受ける。

問7 答え：エ

解説 「です」は丁寧な断定を表す助動詞。ほかは活用しない助詞。

問8 〔34字〕 解答例：助詞と助動詞はどちらも付属語だが、助詞は活用せず、助動詞は活用する。

解説 付属語である点は共通でも、活用の有無は異なる。

採点 共に付属語、助詞は活用しない、助動詞は活用する、の三点が必要。

D 付属語の確認テスト

定期テスト対策 ｜ 解答・解説 ｜ 100点満点

字数指定の範囲外は内容点から1点減点。各問の下限は0点です。

問1 〔10点〕 答え：助動詞

解説 「ます」は活用する付属語。

採点 正答10点。

問2 〔10点〕 答え：格助詞

解説 主語を示す「が」。

採点 正答10点。

問3 〔10点〕 答え：接続助詞

解説 前後の事柄を逆接でつないでいる。

採点 正答10点。

問4 〔10点〕 答え：打ち消し

解説 「使う」という動作を否定する。

別解・許容 「否定」も可。

採点 正答10点。

D 付属語の確認テスト

定期テスト対策 ｜ 解答・解説 ｜ 100点満点 ｜ つづき

問5 〔10点〕 答え：イ

解説 「だけ」は、借りた物を一冊に限る。

採点 正答10点。

問6 〔15点〕 答え：歩き／まし／た

解説 動詞「歩き」、丁寧の助動詞「まし」、過去の助動詞「た」に分かれる。

採点 各5点。

問7 〔15点〕 答え：①格助詞／②接続助詞

解説 ①は出発点、②は後ろの行動の理由。

採点 ①7点、②8点。

問8 〔20点〕 〔36字〕 解答例：前者は主語を示す格助詞で、後者は前後の事柄を逆接でつなぐ接続助詞である。

解説 文字が同じでも、文中の働きによって種類を区別する。

別解・許容 後者の説明は「対比する」「逆接で結ぶ」なども可。

採点 前者は格助詞5点・主語を示す5点。後者は接続助詞5点・前後をつなぐ5点。